

日本学術会議第二部役員会（第24期・第10回） 議事要旨

1. 日 時 令和元年7月25日（木） 12：00～12：30

2. 場 所 日本学術会議5階 5-B会議室

3. 出席者 石川部長、平井副部長、丹下幹事、武田幹事

4. 議 題

1) 前回議事要旨の確認

2) 医学会連合との懇談会報告（資料1）

資料に基づき石川部長より、2019年7月2日（京都グランビアホテル）で開催された山極会長と医学会連合関係者との懇談会の報告があった。

専門医シーリングと臨床研究法運用の問題点に関する意見交換が行われ、今後協力して対応することが確認された。

3) 専門医シーリングの問題点（資料2）

石川部長より本件について説明があった。厚生労働省が進めようとしている施策であるが、大学病院等において教育研究を行う専門医の臨床エフォートのカウント方法について、教育研究機関を所掌する文部科学省のそれと食い違いがあり、結果として日本における生命科学・医薬学分野の研究力の大幅な低下を招く恐れがある。本件は、文科省と厚労省の制度に齟齬があることに由来するため、当面、関係者が行政担当者に問題点の存在を指摘し解決を求めることとなった。

4) 臨床研究法運用の問題点

石川部長より本件について説明があった。臨床研究に悪影響を与える恐れがあり、この問題に関する分科会を設置して対応することを検討している。

5) CSTI（7月11日）報告（資料3）

基礎研究力の向上のために、日学各部長がCSTIで意見を述べる3回のうちに2回目が開催された。石川部長より、表明した意見内容「基礎研究力の向上のために何が必要か」について説明があった。8月8日に3回目の懇談会がある。

6) 学協会連携の状況について

・日本農学会と日学関係者・丹下先生の打合せを検討中（丹下）

・平井副部長（看護学、食品化学分野など）、武田幹事（基礎生物学）もそれぞれ関連する学協会の関係者と打合せを検討する。

7) 第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティー分科会の活動状況について（資料4）

平井副部長より、本分科会の設置と今後予定（公開シンポジウム開催など）の報告あった。

8) その他

・石川部長より、財務委員会の報告があった。

・武田幹事より、CSTI で議論が始まった第 6 期科学技術基本計画に関連して、科学者委員会学術体制分科会（委員長：佐藤部長（第一部））で提言を検討していることの報告があった。近日中に各部に草案に対する意見照会がある予定。